



縄文文化を世界に発信！

大英博物館で長岡の火焰型土器を常設展示

長岡市が所蔵する火焰型土器が英国の大英博物館で常設展示されます。これは同館側から、日本セクションの一部（縄文時代部分）をリニューアルする際に火焰型土器を展示してほしいとの要請を受けたものです。

また、常設展示に先立ち、在英国日本大使館でプレ展示会とオープニング行事も開催。長岡の誇る火焰型土器と縄文文化をロンドンから世界に向けて発信します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

大英博物館での常設展示と関連行事

- 1 展示資料 火焰型土器など4点（長岡市岩野原遺跡他出土）
- 2 展示期間 10月14日（金）から3年間
- 3 展示場所 大英博物館日本ギャラリー（ルーム92）の縄文時代部分
- 4 関連行事
 - (1) 在英国日本大使館でのプレ展示会「火炎土器～縄文の遺産」
 - ①期間 10月3日（月）～12日（水）
 - ②会場 在英国日本大使館（ロンドン）
 - ③内容 ・大英博物館に常設展示される火焰型土器など4点の先行公開
・長岡市や縄文文化の特色もパネルなどで紹介
 - (2) 火焰土器（馬高遺跡出土の国重要文化財）のレプリカ贈呈
 - ①日時 10月3日（月）午後10時（現地時間：同日午後2時）
 - ②会場 大英博物館（ロンドン）
 - ③内容 高橋譲・長岡市教育長と関正史・市議会議員がジョナサン・ウイリアムス副館長と面談し、記念品の火焰土器のレプリカ、火焰土器のマンホールのふたなどを贈呈
 - (3) 在英国日本大使館でのオープニング行事（レクチャー及びレセプション）
 - ①日時 10月4日（火）午前2時30分～4時30分
（現地時間：10月3日（月）午後6時30分～8時30分）
 - ②会場 在英国日本大使館（ロンドン）
 - ③内容 國學院大學・小林達雄名誉教授による記念講演
 - ④出席者 加藤元彦特命全権公使、長岡市教育長、市議会議員ほか



←大英博物館に展示される火焰型土器など（岩野原遺跡他出土）。

※火焰型土器や王冠型土器などの土器を総称して“火炎土器”といひます

●展示の意義

- 展示場所は、大英博物館収蔵品のうち、原始・古代から近・現代にいたる日本の歴史や美術にかかわる貴重な資料を陳列しています。原始・古代の縄文時代を紹介する部分に常設展示される予定です。平成24年7月から中魚沼郡津南町の火焰型土器1点がすでに常設展示されており、その資料とも連携した高い効果が期待されます。
- 今回の資料は、火焰型土器の典型的な特徴をもつ個体で、国の重要文化財に指定されている馬高遺跡出土品と比べても遜色のないものです。
- 世界中から年間600万人が訪れる大英博物館で長期間に常設展示を行うことで、長岡の火焰型土器や縄文文化を世界に向けて発信することができます。

<大英博物館>

- ・1753年、ロンドンに設立された世界最大級の博物館。来館者の半数以上は外国人が占める。入館料は無料。
- ・平成24年10月4日～25年1月20日、大英博物館の特別展示室ルーム3（メインエントランス脇）に長岡市の火焰型土器2点を展示。約4カ月間という短い展示期間ながらも入場者数は11万人を超え、ルーム3では日本をテーマにしたこれまでの展示で最高数を記録。

現地の写真などの提供について

写真などのデータは、インターネットを介して提供します。

現地の状況によっては、提供する日時やデータに変更がある場合がありますので、予めご了承ください。

1 写真（スチール）の提供時間

- ・関連行事は、10月4日（火）午後6時ころ
- ・常設展示は、10月17日（月）

2 動画（ムービー）の提供時間

- ・常設展示のみ10月17日（月）

3 コメントの提供

関連行事の「オープニング行事」での加藤元彦特命全権公使、「火焰土器のレプリカ贈呈」でのジョナサン・ウィリアムス副館長のコメントを提供予定です（写真の提供と同じタイミング）。

4 写真等の提供希望の申し込み

- ・**10月3日(月)午後3時まで**に、情報発信企画課 E メール inf-prd@city.nagaoka.lg.jp 宛に、件名に「大英博物館（社名）」、本文に社名、担当者、メールアドレス、希望する資料（写真、動画）を明記して、お送りください。
- ・3日（月）午後5時までに、受信確認の返信メールを送ります。届かない場合は、情報発信企画課Tel.0258-39-2345 に連絡ください。
- ・データが届き次第、入手方法をメールします（dropbox での提供を予定）。

問い合わせ：長岡市教育委員会科学博物館 小熊・新田
TEL 0258-32-0546